

第三者評価の受審実績（過去 5 年間）		平成 21、22、23、24、25 年度	
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

【取材メモ】



取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価（自己評価）のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

■事業所の特色

大学生が行き交う姿が目立つ江古田駅の北口に降り立ち、正面にある神社の脇の路地を進むと、背の高い木々に囲まれた院庭の向こう側に錦華学院の 3 階建ての建物が見えてきます。

今年で創立 128 年、前身の施設が創設された渋谷から現在の地に移転して、ちょうど 90 年目を迎えます。児童福祉法による養護施設に転換したのが戦後の昭和 24 年、当時の定員は 70 名でした。昭和 63 年に 定員を 50 名に変更。平成 4 年の大規模改修で児童寮・食堂・厨房の改修と地域交流ホール・造形教室の設置、自立訓練室の増設を行い、平成 8 年の児童寮の増設で現在の 4 寮舎となりました。その後、平成 17 年に 区内にグループホームを開設し、定員が 52 名となりました。

本園の 4 つの寮舎とグループホームにそれぞれ幼児から高校生までの男児・女児と一緒に生活しています。本園の各寮舎には、玄関とリビング、風呂場などが備わっており、独立した生活空間の中で 11~12 人の子どもが暮らしています。居室の定員は 1~2 名となっています。

卒院後のアフターケアも含め、職員は非常に長いスパンで子どもと関わることになります。当事業所では、職員は基本的に常勤で構成し、職員の平均勤続年数が 13~14 年と長い点が特徴の一つとなっています。

毎年秋には、地域の人たちの理解と交流を深めるため、地域の小学校・PTA・ボランティアグループなどの協力のもとで、「お楽しみ会」を開催しており、季節のイベントとして地域に定着しています。



【秋のお楽しみ会】